



「自然共生型酪農の実現に向けた、太陽光発電設備の導入」

～持続可能な酪農の実現をめざした自家消費型太陽光発電事業をスタート～

伊藤忠エネクスホームライフ西日本株式会社(本社:広島県広島市、代表取締役社長:山本隆行、以下当社)は、株式会社浜田メイプル牧場(本社:島根県浜田市、代表取締役社長:松永和平、以下浜田メイプル牧場)に対し、第三者所有モデルによる自家消費型太陽光発電設備の導入(以下、本件)による自然共生型酪農事業への協力を開始しましたのでお知らせいたします。

【1.本件の概要】

1)方式

当社は浜田メイプル牧場の牛舎屋根に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を牛舎で全量自家消費していただきます。昨今あらゆる企業に環境対策が求められておりますが、再生可能エネルギー由来の環境にやさしい電力を自家消費いただくことで、CO2削減とエネルギーコストの低減を実現します。

2)導入設備

導入事業者	導入事業者	株式会社浜田メイプル牧場
	所在地	島根県浜田市三隅町井野ホ 1342 番地
設備概要	設計・施工・保守・所有	伊藤忠エネクスホームライフ西日本株式会社
	発電容量	564.5kW
	想定削減電力量	571,535kWh/年
	想定CO2削減量	247t/年
	運用開始	2023年8月

【株式会社浜田メイプル牧場】



【太陽光パネル全景】



3) 導入事業者のメリット

- ①初期投資不要で太陽光発電システムを設置可能
- ②再エネ由来の電力を全量自家消費して CO2 の削減に貢献
- ③エネルギーコストの削減を実現

【2. 本件の強み】

1) 農業・畜産業者が抱えるエネルギー課題を解決

再生可能エネルギーの自家消費によって、農業・畜産に必要なエネルギーコストの削減及び、企業として求められる CO2 削減課題を同時に解決します。

2) 発電した電力のほぼ 100%を自家消費可能

導入施設の電氣的負荷がほぼ一定であるため、発電した電力を余らせずに自家消費が可能になり、コストメリットが高まります。

3) 電力会社の系統に接続せずスムーズに設置が可能

完全自家消費に特化することで、電力会社への申請が簡略化され、FIT 申請も不要となり短期間で設置が可能となります。

【3. 今後の展望】

農業・畜産業者が抱える事業と課題解決に向けて、広く、自家消費型太陽光発電設備を導入することで、安定経営と自然と共生した持続可能な酪農の実現をめざします。

当社は松永牧場グループと本件を通じてさらなる連携強化を図ると共に、同様の大型農場にも導入を展開し、再エネ活用の自然共生ビジネスモデル拡大に貢献します。

今後は、他のパートナーとの協業により、自家消費型太陽光発電設備に加え、さらなる総合的な環境負荷低減を実現し、地域社会と脱炭素社会との橋渡しを実現貢献してまいります。

【松永牧場グループの取組み情報】

酪農における GHG 排出量は世界的に問題になっている中、浜田メイプル牧場の親会社である『株式会社松永牧場』では ISO14001 を取得し、環境マネジメントシステムを構築、環境負荷の削減目標を設定し継続的な取組を進めている。

《取組テーマ》

- ・資源の循環(堆肥化設備を所有し、牛糞の堆肥化による循環型農業を実践)
- ・廃棄物(食品製造副産物利用による資源の節約・効率的な利用)
- ・エネルギー(太陽光発電への取組による自然エネルギーの有効活用)
- ・牛糞由来のバイオマス発電事業の検討

本件に対する窓口

伊藤忠エネクスホームライフ西日本㈱

担当:経営企画グループ 新規事業ユニット 樋口

TEL:082-502-2653 メール:Hajime_Higuchi@grp.itcenex.com